

2019年7月31日

一般社団法人兵庫県サッカー協会
規律・フェアプレー委員会御中

「FIFA フェアプレーの運用取り止め」を受けての現状について

一般社団法人兵庫県サッカー協会
事務局長 矢崎 勉

盛夏の候、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、協会事業に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日(7/21)の規律・フェアプレー委員会でお預かりさせていただきました標記の件につきまして、現時点で以下の通り確認しておりますので、ご報告させていただきます。

ご確認下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、文面上から読み取れない趣旨につきましては、ヒアリングにより判断したのもございますので、以下の根拠1・2に記載の無い部分につきまして、現場での柔軟なご対応をお願い申し上げます。

- ・根拠1 JFA 発 2019年5月31日付「FIFA フェアプレーの運用取り止めについて」
- ・根拠2 JFA 発 2019年6月7日付「FIFA フェアプレーの運用取り止めについて【お詫び・修正】」
- ・当然ながら、フェアプレーの精神を否定するものではありません。
- ・JFA では、競技会において”FIFA Fair Play”及び”My Game is Fair Play”の運用を取り止めることになったと説明していますが、都道府県協会においても同様の運用を求めているものです。今後は、「場内への掲揚」、「プレマッチセレモニーにおける先導」を行わない、デザイン、旗を使用しない方針ということになります。
- ・本年9月を目途に新たなリスペクト旗が作成される予定です。兵庫県 FA では、掲揚用(小 1.2m×1.8m)を20枚、入場用(大 3.0m×4.5m)を5枚取得する予定にしています。その内の掲揚用を13都市協会へ1枚ずつ配布させて頂く予定です。追加購入につきましては、改めまして確認させていただきます。
- ・FIFA フェアプレーワッペン(審判服への表示)の取りやめについては、2019年6月1日以降の競技会から、2020年3月末日を目途に順次対応することになっています。
- ・フェアプレー賞及びそれに伴う表彰状とトロフィーに関する記載が根拠1・2にありませんので、フェアプレー賞の授与そのものが否定されたものではありません。FIFA のデザインを使用しない範囲内で引き続き運用は可能です。既に作成済みのもので、FIFA のデザインが使用されているも

のに関しましては、上記にならない、2020年3月末日までは移行期間ととらえ、使用しても問題ないと解釈いたします。

- ・委員会名称についてですが、47FAのほとんどが、現在「規律・フェアプレー委員会」となっています。

他には、北海道「規律・リスペクト委員会」、青森県、山形県、徳島県、高知県「規律・裁定委員会」、福井県、静岡県、京都府、山口県、福岡県「規律委員会」などがあります。

新しい委員会名が必要な場合は、規律・フェアプレー委員会から提案があっても良いものだと思います。

- ・Jリーグが引き続き掲揚やプレマッチセレモニーにおいて使用しているフェアプレーフラッグにつきましては、文言は同じものですが、Jリーグのオリジナルによるものなので、本件には抵触するものではないとのことです。

以上